

令和3年度(2021年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区消防事務組合消防本部	利尻礼文消防事務組合消防本部	南宗谷消防組合消防本部
1.ハード対策の主な取組																			
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																			
	①堤防整備等	クサン川、頓別川、北見頓別川にて河川改修事業、タネトンナイ川にて砂防事業を実施。河道内の掘削を頓別川、エサシウエンナイ川、北見頓別川、オムロシュベツ川、徳志別川、フーレツ川、音標川にて実施。				クサン川の早期改修を要望した。													タネトンナイ川上流部砂防ダムの新設及び既存ダムと流水路堰堤の補強等の工事継続実施。
■危機管理型ハード対策																			
	①堤防天端の保護	北見頓別川にて天端舗装工事を実施。																	
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																			
	①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報を提供するためのシステム構築	-防災訓練の場でスマホ版「川の防災情報」等について幅広く周知を行った。 -スマホやタブレットを用いて迅速な防災対応を図るよう努めた。			より多くの方に気象庁の危機感を伝えるため、YouTubeを利用した「緊急記者会見」のライブ中継を開始。(R2.3) -「線状降水帯」による大雨の危機感を伝えるため、「顕著な大雨に関する情報」の提供を開始(R3.6) -災害発生時の危険度が急激に上昇し、速やかに安全確保が必要な状況となっていることが伝わるよう、「記録的短時間大雨情報」を改善(R3.6) -防災担当者をはじめ、利用者が利用しやすいよう、気象庁ホームページを改善(R3.2)。														
	②洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	プッシュ型の洪水予報等の情報発信について情報収集等を行った。			「危険度分布」における危険度の高まりをプッシュ型で通知サービスを気象庁の協力の下で民間協力事業者が開始。スマートフォンのアプリやメール等でお知らせする。(R1.7)														
	③高齢者等に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討し、現在行っている情報伝達手段と合わせて運用することにより充実を図る。					緊急告知防災ラジオの運用、コミュニティFMの活用を行った。	昨年度に引き続き、IP告知端末等による情報伝達体制の整備、強化を検討。	防災行政無線の戸別受信機を全世帯に配布・運用開始。	昨年度に引き続き、防災無線設備を整備中。運用、配布率97%。	昨年度に引き続き、IP告知端末等による情報伝達体制の整備、強化を検討。	昨年度に引き続き、IP告知端末等による情報伝達体制の整備、強化を検討。	昨年度に引き続き、防災ラジオ等の整備を検討。	昨年度に引き続き、IP告知端末等による情報伝達体制の整備、強化を検討。						
	④水防拠点の整備	北見頓別川(枝幸町下頓別地区)の資材ヤード整備に着手。																	
	⑤迅速な水防活動を支援するための水防資機材の整備	水防資機材の点検、配備を行った。	昨年度に引き続き、関係機関の資機材保有状況を防災情報システムで共有。		H29に整備した土のうステーション等の管理運営を行った。	昨年度に引き続き、消防団単位で資機材を配備。	河川付近に資機材の配備を検討。	役場庁舎用大型水蓋及び排水ポンプ導入。	昨年度に引き続き、河川付近に資機材の配備を検討。	昨年度に引き続き、消防団単位で資機材を整備。	昨年度に引き続き、小型排水ポンプを整備、操作訓練実施。								
	⑥SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティFM等の様々な情報伝達手段の整備	昨年度に引き続き、関係機関と連絡体制を確認。			SNSの利活用について検討を行った。	昨年度に引き続き、登録制配信メールの機能改善。	防災行政無線の戸別受信機を全世帯に配布・運用開始。	昨年度に引き続き、防災無線設備を整備中。	・多様な情報伝達手段の確保及び利活用を検討。 ・全戸配付のIP告知端末の欠点(自己給電機能なし)を補う等、情報伝達手段の強化を検討。	昨年度に引き続き、多様な情報伝達手段の確保及び利活用を検討。 ・昨年度に引き続き、登録制メールの機能を改善。	昨年度に引き続き、多様な情報伝達手段の確保及び利活用を検討。 ・昨年度に引き続き、防災ラジオ等の整備を検討。	防災ラジオの導入検討。							
	⑦避難場所の明確化(避難誘導のための看板設置等)に関する取組を行う				避難所等の看板をビクトグラムを用いたデザインへ変更した。(令和3年度で全ての看板のビクトグラム対応を完了)	昨年度に引き続き、避難場所の看板を設置。(新たな避難場所の指定予定はないため設置なし)	引き続き、避難誘導看板の設置を検討。	小学校グラウンド内に看板を設置。	昨年度に引き続き、避難誘導看板の設置を検討。	稚内建設部と連携した土砂災害時の避難誘導看板と併せた設置を予定したが、再検討。	昨年度に引き続き、避難場所の見直し。	避難所、避難場所の変更が生じた際に、随時移設を検討。							

令和3年度(2021年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察 旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区消防事務組合 消防本部	利尻礼文消防事務組合 消防本部	南宗谷消防組合 消防本部	
2.ソフト対策の主な取組																				
① 広域的に氾濫する地域特性を踏まえた迅速かつ確実な避難行動のための取組																				
■情報伝達、避難計画等に関する事項																				
		①想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを行い、地域防災計画及びハザードマップへの反映	浸水想定区域図(ベンケナイ川)を作成した。			作成した洪水ハザードマップを踏まえ、避難所等の見直しを検討および地域防災計画への反映を行った。	地域防災計画の改定、ハザードマップ更新の実施、検討。	地域防災計画の全面改訂を実施。	全町域における最大想定を踏まえ、ハザードマップを作成。	・令和元年度水害ハザードマップ作成済み。 ・令和2年度 地域防災計画改定済み。	洪水氾濫危険区域図に基づき、地域防災計画見直し、ハザードマップ作成を検討。	必要に応じて見直しを検討。	浸水想定区域図等の提供後、地域防災計画見直し、ハザードマップ作成を検討。							
		②道路管理者との連携により避難経路を検討	工事による道路の通行止め情報の提供を実施。	各自自治体の避難行動計画等の作成時に協力可能。		令和元年度に公表された想定最大規模の洪水浸水想定区域図をもとに避難経路の検討を行った。	避難行動マニュアルを継続して検討。	避難経路等について継続して検討。	避難経路等の確認、検討。	避難経路等について継続して検討。	避難経路等について確認、検討。	避難経路等について継続して検討。	避難経路等の確認、検討。							
		③避難指示等の発令に着目したタイムラインの作成および支援	水位周知河川沿川の自治体における水害対応タイムラインの検証、見直しを行い引き続き運用を図る。	昨年度に引き続き、国直轄河川の先行事例について情報提供。	避難勧告等の発令に着目したタイムラインへの見直し支援を計画していたが、令和4年3月現在で提示が無いため未対応。	ウエンナイ川以外の河川のタイムライン作成を検討した。	避難勧告着目型タイムラインの作成について引き続き検討。	作成したタイムラインの運用、見直し、調整、住民周知。	作成したタイムラインの運用、見直し、調整、住民周知。	・令和元年度に作成した水害ハザードマップに掲載し、住民に周知済み。 ・タイムライン見直しに係る検討。	避難勧告等の発令に着目したタイムラインを作成。	避難勧告着目型タイムラインの作成。	実災害で作成。							
		④タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上	タイムラインを活用した洪水対応訓練を実施。	タイムラインを活用した避難訓練の支援を継続実施。	タイムラインの精度向上に向けた作業の支援及び避難訓練への参加を計画していたが、令和4年3月現在で提示が無いため未対応。	タイムラインを活用した訓練の実施を検討した。	タイムライン作成後に検討。	タイムラインを活用した訓練等を実施。	タイムラインを活用した訓練の実施。	タイムラインを活用した訓練の実施。	タイムラインを活用した訓練の実施を検討。	タイムラインを活用した訓練の実施。	タイムラインを活用した訓練等を実施。	未実施				関係機関との連携により訓練等を実施。	関係機関との連携により訓練等を実施。	
		⑤各地域における避難指示等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容について役職員向けマニュアルの作成及び地域防災計画の見直し	市町村における避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成支援。	昨年度に引き続き、市町村の防災会議に参加、計画策定について助言等を行う。	地域防災計画の見直しに関する支援を行った。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直しを行った。	地域防災計画更新案を作成。	職員初動マニュアルの見直しを検討。地域防災計画の全面改定を実施。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直し。	令和2年度に地域防災計画改定済み。職員初動マニュアルの見直しを検討。	避難勧告等の判断伝達マニュアル及び、職員初動マニュアルの改定を実施。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直し。	職員初動マニュアル及び地域防災計画等の見直し。							
		⑥農協等と連携して、広域に分散する農産施設、災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保、訓練等に関する取組を促進	洪水対応訓練が中止。	タイムラインの精度向上を踏まえた訓練等の参加、協力。		要配慮者利用施設等から避難場所等における避難に関する取組を検討。	昨年度に引き続き、要配慮者利用施設等の状況を把握し、避難に関する取組の継続を促す。	昨年度に引き続き、要配慮者利用施設等の状況を把握し、避難に関する取組の継続を促す。	昨年度に引き続き、要配慮者利用施設等の状況を把握し、避難に関する取組の継続を促す。	昨年度に引き続き、要配慮者利用施設等の状況を把握し、避難に関する取組の継続を促す。	昨年度に引き続き、要配慮者利用施設等の状況を把握し、避難に関する取組の継続を促す。	・昨年度に引き続き、要配慮者利用施設等の状況を把握し、避難に関する取組の継続を促す。 ・垂直避難を考慮した避難行動マニュアルの作成。								
		⑦住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したタイムライン作成のサポートを充実させる。	洪水対応訓練が中止。	タイムラインの精度向上を踏まえた訓練等の参加、協力。		昨年度に引き続き、要配慮者利用施設等における避難に関する取組を検討。	要配慮者利用施設等の状況を把握し、避難に関する取組の継続を促す。	関連課と連携してタイムラインの普及を検討。	昨年度に引き続き、要配慮者利用施設等の状況を把握し、避難に関する取組の継続を促す。	・昨年度に引き続き、要配慮者利用施設等の状況を把握し、避難に関する取組の継続を促す。 ・垂直避難を考慮した避難行動マニュアルの作成。										
2.ソフト対策の主な取組																				
① 広域的に氾濫する地域特性を踏まえた迅速かつ確実な避難行動のための取組																				
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項																				
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成・公表	浸水想定区域図(ベンケナイ川)を作成した。																	
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等に基づいたハザードマップの作成と周知	水位周知河川指定予定の道管理河川について浸水想定区域図を作成し、関係自治体に提供する。	ハザードマップ作成を支援。		作成した洪水ハザードマップを市民に周知した。	浸水想定区域図等に基づいたハザードマップ作成を検討。	ハザードマップ等のデータ更新を検討。	最大想定ハザードマップの全戸配布及び、webハザードマップの運用開始。	・令和元年度に作成済み。 ・浸水想定区域図等ハザードマップ配布。 ・町ホームページへの掲載による住民周知の実施。	稚内建設管理部との連携による土砂災害ハザードマップの作成に併せて作成を検討。洪水氾濫危険区域図を当該地区に配布。	新たな浸水想定区域図、氾濫危険区域図に基づきハザードマップを作成。	転入者等に対するハザードマップの周知。							
		③想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまちごとハザードマップの作成と周知	ハザードマップ作成のための浸水想定区域図等を関係自治体に提供。	ハザードマップ作成を支援。	ハザードマップ等への作成のための支援を計画していたが、令和4年3月現在で提示が無いため未対応。	まるとまちごとハザードマップの必要性を検討した。	浸水想定区域図等の公表後に作成を検討。	まるとまちごとハザードマップ作成を検討。	浸水想定区域図等の公表後に作成を検討。	継続してまるとまちごとハザードマップ作成を検討。	継続してまるとまちごとハザードマップ作成を検討。	継続してまるとまちごとハザードマップ作成を検討。	まるとまちごとハザードマップ作成を検討。							

令和3年度(2021年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察 旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区 消防事務組合 消防本部	利尻礼文 消防事務組合 消防本部	南宗谷消防 組合消防本部
		④小学生を中心とした河川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	平成29年に防災に関する事項が改訂された学習指導要領が令和2年度から小学校、令和3年度から中学校で全面施行となるため、学校及び市町村で実施される「1日防災学校」等の防災教育の取組への協力・支援を実施。	昨年度に引き続き、国直轄河川で先行している情報を入力し、防災教育に関する資料収集や情報提供を行う。	関係機関と連携した平時における防災に関する啓発を継続して実施。	出前講座を通じて、小学生へ水防に関する啓発を行った。	昨年度に引き続き、防災教育情報を提供。	防災教育の促進を継続実施。	小学校において防災教室を実施する。	令和3年度、1日防災学校実施時に情報提供、引き続き、関係機関と連携して防災教育の実施を検討。	昨年度に引き続き、関係機関と連携して防災教育の実施を検討。	昨年度に引き続き、関係機関と連携して防災教育の実施を検討。	避難訓練に合わせて防災講話を実施。	避難訓練に合わせて防災講話を実施。	積極的に防災訓練に参加し、防災対応力の向上を図った。	未実施	引き続き避難訓練に合わせて防災講話を実施。	新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、今年度は中止となり未実施。	
		⑤関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施	自主防災組織等において、地域防災の核となる地域防災リーダー等の人材の育成を実施。	昨年度に引き続き、水防意識向上のための講習会として出前講座メニュー「防災の基礎知識と災害支援について」に登録。	・宗谷総合振興局、稚内開発建設部と共催の「宗谷防災講座」において、防災気象情報への理解と地域防災で活躍できる人材育成を行う。(令和3年13月現在未実施) ・eラーニング「大雨のときどう選べる？」を気象庁HPで提供開始(R2.5)	出前講座や防災訓練を通じて、関係機関の職員や住民を対象に水防に係る啓発を行った。	効果的な訓練実施を検討。	効果的な訓練実施を検討。	効果的な訓練実施を検討。	効果的な訓練実施を検討。 ・津波・地震を主対象とした避難訓練に水防教育を加えた防災教育を実施。 ・自主防災の核となる地域防災リーダー養成講習を実施。人材を確保。	効果的な訓練実施を検討。	効果的な訓練実施を検討。	あらゆる機会を通じて住民等を対象とした各種防災訓練、講話を実施した。	あらゆる機会を通じて住民等を対象とした各種防災訓練、講話を実施した。	あらゆる機会を通じて住民等を対象とした各種防災訓練、講話を実施した。	未実施	昨年度に引き続き、防災訓練への参加、協力を実施。	新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、今年度は中止となり未実施。	
		⑥防災無線やホームページ等を活用した住民の水防意識啓発のための広報の充実	開設済みの「ほっかいどうの防災教育」ポータルサイトについて、幅広く啓発を実施。	HP等を活用した情報提供により広報の充実を図った。		ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発した。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発。	ラジオ、広報紙、HP等を活用して啓発。	ミニ広報誌やホームページを活用し、街頭啓発を実施した。	ミニ広報誌やホームページを活用し、街頭啓発を実施した。	ミニ広報誌やホームページを活用し、街頭啓発を実施した。	関係機関と協力して対応を図った。	昨年度に引き続き、関係機関と協力して対応。	各種イベント等が新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、今年度は中止となったため未実施。	

2-ソフト対策の主な取組

2- 広範囲にわたる浸水被害から地域を守り、被害を最小化するための水防活動・復旧に関する取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団(消防団)や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	未実施。	共同点検に参加。		水防団(消防団)や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検の実施について検討した。	昨年度に引き続き、出水期前に点検を行う。	出水期前に点検を行う。	昨年度に引き続き、出水期前に点検を行う。	昨年度に引き続き、出水期前に点検を行う。	昨年度に引き続き、出水期前に点検を行う。	昨年度に引き続き、出水期前に点検を行う。	重要水防箇所の見直しを行い、水害リスクの可能性のある箇所について関係機関と情報共有を実施。	重要水防箇所の見直しを行い、職員に対して、災害発生予想危険箇所の把握を図った。	重要水防箇所の見直しを行い、職員に対して、災害発生予想危険箇所の把握を図った。	重要水防箇所の見直しを行い、職員に対して、災害発生予想危険箇所の把握を図った。					
②関係機関が連携した広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を実施	防災対応訓練が中止。	水防訓練に参加。	豊富町主催の住民を対象とした防災訓練に参加(R3.10)。	水防訓練への参加を検討を行った。	昨年度に引き続き、水防訓練の実施を検討。	・水防訓練に参加。 ・関係機関、住民と連携した水防訓練を検討。	水防訓練の実施。	昨年度に引き続き、関係機関、住民と連携した水防訓練を検討。	関係機関、住民と連携した水防訓練の実施を検討。	・水防訓練に参加。 ・昨年度に引き続き、関係機関、住民と連携した水防訓練を検討。	本年度については水防訓練には参加できず	本年度については水防訓練には参加できず	本年度については水防訓練には参加できず	未実施	水防訓練へ参加。	取組未実施。			
③広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、迅速な水防活動を支援するため、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る	水防資機材の確保が必要な地域を自治体と検討。	昨年度に引き続き、各事務所、道の駅などに配備している資機材の整備・補充。		必要とされる水防資機材やその保管場所について検討を行った。	昨年度に引き続き、資機材の充実を図る。	水防資機材の充実を図る。	必要資機材を関係機関と検討。	昨年度に引き続き、資機材の充実を図る。	昨年度に引き続き、資機材の定期点検と情報共有を実施。	昨年度に引き続き、資機材の充実を図る。									
④的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団(消防団)員数の確保を図る	消防庁の「消防団加入促進キャンペーン」期間(1~3月)に合わせて、市町村とともにポスターの掲示及び加入促進活動を実施。			消防団員の拡充を推進した。	昨年度に引き続き、消防団員の拡充を推進。	消防団員の拡充を推進。	昨年度に引き続き、消防団員の拡充を推進。	昨年度に引き続き、消防団員の拡充を推進。	昨年度に引き続き、ポスター及びリーフレットの配布による消防団員の確保を推進。	昨年度に引き続き、消防団員の拡充を推進。						組合構成市町村と連携し、消防団員募集の取り組みを継続的に実施した。広報誌掲載やポスター掲示など、周知活動を実施した。	昨年度に引き続き、消防団員の拡充について自治体と連携して取組。	昨年度に引き続き、関係自治体と連携し、消防団員の確保に努めた。	
⑤自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	4月実施の全道振興局防災係長会議等において、災害派遣要請の調整方法を確認。			災害派遣要請の調整方法を確認した。	昨年度に引き続き、災害派遣要請の調整方法を確認。	災害派遣要請の調整方法を確認。	昨年度に引き続き、災害派遣要請の調整方法を確認。	昨年度に引き続き、災害派遣要請の調整方法を確認。	昨年度に引き続き、災害派遣要請の調整方法を確認。	昨年度に引き続き、災害派遣要請の調整方法を確認。	災害派遣要請の調整方法を確認。	災害派遣要請の調整方法を確認。	災害派遣要請の調整方法を確認。	災害派遣要請の調整方法を確認。					

令和3年度(2021年度)における河川の減災に係る取組

資料2-1

大項目	中項目	小項目	宗谷総合振興局	稚内開発建設部	稚内地方気象台	稚内市	猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	北海道警察旭川方面本部	稚内警察署	枝幸警察署	稚内地区消防事務組合消防本部	利尻礼文消防事務組合消防本部	南宗谷消防組合消防本部
③ その他																			
■災害対応に関する事項																			
		①災害時及び災害復旧に対する支援強化	異常気象等により被害発生等の恐れがある場合に、市町村及び関係機関との情報共有等を実施。	昨年度に引き続き、自治体とのホットライン(幹部・防災担当)構築、各防災機関との連絡体制確認、リエゾン派遣による情報収集等を行う。	災害発生時の市町村に特化した気象支援資料を提供する。また、関係機関との情報共有を行った。	災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	災害発生時、関係機関と連絡を密にし情報共有に努めた。	災害発生時、関係機関と連絡を密にし情報共有に努めた。	災害発生時、関係機関と連絡を密にし情報共有に努めた。	災害発生時の関係機関との情報共有を図った。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努める。	昨年度に引き続き、災害発生時の関係機関との情報共有に努めた。
		②災害情報の共有体制の強化	「防災情報に関する打合せ会」等の場で、関係機関との情報共有を実施。	昨年度に引き続き、防災情報に関する打合せ、宗谷防災講座等参加。	振興局との共催により、「防災情報に関する打合せ会」を開催した。(書面開催)	協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図った。	昨年度に引き続き、協議会の場等活用し、災害情報の共有を図る。	協議会の場等活用し、災害情報の共有を図る。	昨年度に引き続き、協議会の場等活用し、災害情報の共有を図る。	昨年度に引き続き、協議会の場等活用し、災害情報の共有を図る。	昨年度に引き続き、協議会への参加と関係機関への情報の共有を図った。	昨年度に引き続き、協議会の場等活用し、災害情報の共有を図る。	昨年度に引き続き、協議会の場等活用し、災害情報の共有を図る。	協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図った。	協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図った。	協議会の場等を活用し、災害情報の共有を図った。	協議会の場等を活用し、毎年、災害情報を共有するよう努めた。	昨年度に引き続き、協議会の場等活用し、災害情報の共有を図る。	昨年度に引き続き、協議会の場等活用し、災害情報の共有を図った。